

# 福島っ子 元気村キャンプ

2012年 夏 in 滝本

2012年7月27日(金)～8月2日(木)



福島っ子元気村キャンプ運営委員会

## ◆はじめに

『みんなの森財団』は、原発被災地から東京へ避難されている方々が、緑豊かな住まいから、大都会へと住環境が急激に変わり、生活のゆとりを失いつつある中で、自然の中でくつろぐ場として財団所有の森を提供してきました。

財団の森林整備活動や、さまざまなイベントへの参加を呼びかけ、2011年12月には、避難者と支援者の交流感謝祭を開催するなど、親睦を深めています。

そうしたつながりの中から、「様々な事情があって避難しない（できない）けれども、子どもの将来に不安を抱えつつ、健康を考え、なるべく安全な場所で遊ばせたい。」と願う、お父さん、お母さん方が沢山いらっしゃることを知り、元気村キャンプを企画、第1回目として、2012年春に1週間のキャンプを開催しました。

キャンプ終了後に、福島県内にて報告会を実施。お母さん達と交流を深めていく中で、原発被災地での暮らしへの不安や、人と人とのつながりに分断が起きていることを知りました。

そこで私たちは新たに有志にて『福島っ子元気村キャンプ実行委員会』を設立。当キャンプを最低でも5年継続することを決めました。

のびのびと休暇を過ごし、たくさんの自然体験を積むなかで、子どもたちの成長と、笑顔が、お父さん、お母さんの心のリフレッシュにつながることを願いつつ……。

そして、2回目のキャンプ……水をメインテーマにプールやいかだでの川下り、野外キャンプでの流しそうめん等を企画しました、子どもたちが楽しんでくれることを願って。

そんな報告を各日ごとにご案内致します。

# 活動報告～各活動日ごとの報告～

## 【1日目】

到着後、アンギン編みを体験。

コースターを作りました。

涼しい福島市内の風に吹かれながら…、  
と思いきや、朝からとても暑い中、集まりました21人の子どもたち！

朝からとても元気です。家族とのお別れもそこそこに、さっそくバスの中でわいわいがやがや。見送るお父さんお母さんたちは少し寂しそうでした。

春のキャンプに来た子たちは慣れたもので、さっそく自分たちのペース。夏がはじめての子たちはまだまだ様子見。

郡山からもお友達が乗ってきました。春以来の再会です。

全員そろったところでゲーム開始。緊張していた初参加の子たちも徐々に打ち解けてきました。バス酔いも少しありましたが、無事に日の出町に到着しました。

駐車場から宿舎の里山交流施設『滝本』まで1キロほどの山道。杉林の勾配をゆっくり歩いていきます。川も流れていて、山



の涼しい空気に6時間もバスに乗っていた体がほぐれたのか、最後はなぜかみんなダッシュしていました。6時間もバスに揺られたとは思えないほど元気です！

滝本に到着して一息入れて、まずは夏の工作『あんぎん編み』日の出名物古代の編み物です。到着してすぐなのに、みんな集中してがんばりました。とても上手。教えてくれた先生も、日の出の子どもより上手ですとほめてくれました。



夕食までの自由時間には皆で川に遊びに行きました。遊びに行くといっても、滝本の敷地の中。多摩川の源流である平井川が流れています。夏でも冷たい水が流れる沢になっています。沢に下りてはだしになって、生き物を探します。魚もいるのですが動きが早くて捕まえるのは至難の業。でも沢蟹なら！男の子たちはさっそく沢蟹取りに夢中です。女の子たちも、流れに足を浸して川の空気を楽しみました。

冷たい川の水で移動疲れも取れたかな？  
到着して間もない緊張感とわくわく感に包まれての夕食、そして就寝。



【2日目】

午前中は滝本で遊び、午後からは、小学校のプールで遊びました。

さあ今日からいよいよ本格的な水遊びがはじます。

朝ご飯を食べ終わったら、川遊びをしました。水はとっても冷たい！途中、近くの養殖場から生きたニジマスをつれてきて、簡単につくった川の堰に放流！でも、今日は1匹もつかまらずでした。

お昼をたべたら、大久野小学校に移動です。交流会の取り仕切りは、前回と同じく大久野中学校の生徒会のみんな。



準備体操をして、徐々に体を水にならして。みんなでプールを回転するように歩いて、流れるプールをつくってみたり、ボールであそんだりしました。



少しして、遠くから雷の音が聞こえてきたので、中学校の体育館に移動して、みんなでドッジボールをしたりしました。

食後はみんなでスイカ割りをしました。上手に2個のスイカを割れたね。

寝る前にガメラの音楽会で、みんなで歌いました。また明日からもみんなで歌おう！

【3日目】

春に植樹した樹木の周りの草刈りをして、野外キャンプへ。



午前中は、春に植栽をした三ツ沢山景観の森へ行きました。

夏になり雑草が生い茂ってきたので、みんなで下草刈りをするのです。

せっかく植えた苗木が負けないように、手助けしないとですからね。

三班に分かれてチームの結束を高めるためのゲームをしたあと、山のおじさんから鎌の使い方を教えてもらい、急斜面の山道を登っていきました。

汗をだくだく流しながら頑張ってくれたおかげで、とっても綺麗になりましたよ。



お昼は近くの冒険の森まで歩いていきました。森の中で、竹を組み立てての流しそうめん。次から次へと流れてくるそうめん、ぶどうやトマト、チーズやグミにゼリーと変わり種に子どもたちも大興奮!!!

夢中になって沢山食べながら、すくいながらと3日間のキャンプ中で一番の盛り上がりでした。

食後は思い思いに過ごしました。男の子は沢ガニを熱中して探していました。

森の中にある滝のところまで歩いて探検もしました。

そして、今夜自分たちが泊まるテントを協力して建てました。



夜はカレーライスを食べ、ナイトハイクへ出かけました。

道沿いの木々に点々と吊るされたロウソクの火と手持ちのランタンをたよりにグループに分かれて歩きました。

行く前は、ドキドキして怖がっている子が多かったのですが、帰ってきた時にはほとんどの子が笑顔で泣いていた子は?! 見つかりませんでした。

夜は、寝袋の中で少しおしゃべりしたりしてにぎやかでしたが、少し経つと遊び疲れたのかぱたっと寝てしまいました。

#### 【4日目】

午前中は、ロッククライミング。

午後は、いかだ下りに挑戦しました。

冒険の森のテントで迎えた、キャンプ4日目の朝。朝食のホットドッグとドーナツを食べ、テントの畳み方を教わり、協力して片付けました。

午前中は、冒険の森の入り口にある大岩でフリークライミングに挑戦しました。ロープに頼らず、自分の腕と足の力だけで登るのです。

人がやっているのを見ると簡単そうに思えるけど、実際にやってみるとけっこう怖いもので、命綱があるから危険はないとわかっているけど、下を見ると足がすくむ!

余裕で登っていく子もいましたが、“恐る恐る”の足取りの子や、涙で顔を濡らしながら岩にしがみついていた子も。





最初は大人が「ほら、応援してあげて」と促していたのですが、登り終わった子どもたちが次第に自分から声をかけてくれるようになりました。

「ガンバガンバ!」「もう少し右手を伸ばして!」「俺ができたんだからできるよ!」「大丈夫、落ちててもかすり傷程度だから(笑)」

諦めずに上を見て登る姿も、友だちに声援を贈る姿も、どちらもかっこよかった!

クライミングには午前中いっぱいかけたので、挑戦しない子や順番まちの子はちょっと手持ち無沙汰。

…と思ったら、ボランティアの皆さんが、近くに落ちている木で弓矢の作り方を教えてくれたり、図鑑を持ってきて昆虫採集に連れて行ってくれたり…と、機転を利かせて楽しませてくれました。



おかげでみんな、退屈せずにすんだようです。

お昼ごはんは滝本へ。メニューはおむすび・唐揚げ・サラダ・漬け物です。

唐揚げは子どもたちに大人気で、あっという間になくなっていました。



川にすぐにでも入りたいほどのお天気日和の1日でした。最大のイベントである筏下りの日がとうとうやってきました。

最初に、いかだ下りをするに当たっての注意点について話がありました。いかだに乗るのをうずうずしながらも、皆、注意に



耳を傾けていました。

竹で作った手作りいかだがスタンバイしています。いろいろな思いで作った手作りいかだ。ついに、そのいかだに子供たちが乗り込んでいきます。

1班が、スタートしました。さっそく、「わーい」とはしゃぐ声が聞こえます。だんだんと自分の班がスタートに近づいてくると、ドキドキと不安、そして子供たちを安全に誘導していかなければいけないという責任でいっぱいになりました。子供たちが、「まだ？もう行っていいの？」と待ちきれない様子でした。

「次、行っていいぞ」との合図、ついに2班の出発です。子供たちが、「キャー」と言っていていかだに乗り込みます。「まだ、待ってー」と子供たちの興奮を抑えるのにまず必死になりました。スタート地点は、浅かった為、皆で押しながら、進み始めました。こどもたちは、どンドンどンドン夢中になって、走っていきました。「みんなで、深くなるまで押し進んでー」とこどもたちに伝えます。そしてやっと深いところに辿り着きました。「今だ、乗っていいよ」と声をかけました。子供たちがバランスをとりながら乗り込んでいきまし



た。しかし、浅いところが多く、つかかってしまい、思う様に進みませんでした。浅

かったため、スタートしてすぐにパンクしてしまっただけの班もありました。そして、また深くなったので乗り込みました。周りには、川遊びをしている方がいて筏が目玉の的になっていました。高校生ぐらいの人達が、一緒になって筏を押してくれました。心温まる瞬間でした。「しっかり前を向いてね」と言いながら、ゆったりと進んで行きました。

その後、ボートを使って遊んだり、自由に泳いだりして遊びました。誰か、体調を崩していないか、ケガをしていないか、溺れていないか注意深く見ながら、子供たちと遊びました。とても、子供たちは、笑顔で楽しんでいました。ゴールまで行けなかったことがすごく残念でした。子供たちが、「楽しい」と言いながら過ごしていて嬉しさと、安心感、達成感を得られました。

### 【5日目】

若駒の里へ行き、動物とのふれあい、午後からは、勾玉作りをしました。

五日目、子どもたち一行は若駒の里というファミリー牧場に向かった。しかし、その日は順風満帆な一日とはいかなかった。スタッフ持ち寄りの自動車数台に、はしゃ





ぎまわる子どもたちを分乗させての移動は、それだけで大仕事であった。点呼をとり、班分けをして、いざ乗ろうとすると、班単位には乗り切れなかったり、スタッフとしては心配を抱えながらの移動であった。滝本から若駒の里に向かう道順では、予定していた道路が最近の豪雨による落石で通行止めになっていた。そのため、ぐるりと遠回りして、山の反対側から若駒の里に向かわざるを得ず、到着時間がかなり遅れてしまった。

若駒の里の乗馬コーナーでは子どもたちがポニーに乗り、そのポニーを係員が誘導して柵内を一周してくれる。乗る直前まで互いにじゃれあっていた子どもたちが、乗った途端に神妙な表情になり、ぎゅっと手綱を握り締め、一周終わるまで一言も発せず、係員の誘導に身を任せていた。降りた後のみんなからは、異口同音に「やったー。」と歓声が上がっていた。

兎と鶏のコーナーでは、兎たちがケージに入っている時は楽しそうに見ているながら、ケージから出して、いよいよ抱かせようと渡すと、途端に手を引っ込め、「だめだめ、いやいや。」とスタッフに押し返してくる子もいた。動物たちの柔らかさや暖かさが気持ち悪かったようだった。

そんな子たちも、彼ら自身をベンチに座らせ、膝の上に兎をのせて抱かせるようにすると、なんとか触ってられる子も現れた。そんな子の一人が兎に指を噛まれ、指先をザックリ切ってしまった。本人はもちろんのこと、一緒に参加していた弟も慌てふためき、気が動転してしまった。痛さよりも不安の方が大きかったようだ。

大事をとり、病院で治療してもらい、早めに滝本に帰ってもらった。

大小いくつものトラブルが重なった日であったが、子どもたちは大いに楽しみ、大いに学習した一日でもあったと私は思いました。

ランチの後は、みんなで勾玉作り。紙ヤスリで石を地味に削る地味な作業。途中、何度も投げ出しそうになった、かも?! いえいえ、みんなかなり集中して作っていて、がんばってペンダントができあがりしました。

その後は、みんなそれぞれ好きな遊び。川で滝に打たれて修行する子(笑)。部屋で遊ぶ子。散歩に出る子。楽しそうな笑い声が響きました。

## 【6日目】

みんなたのしみにしてた東京・修学旅行の日!

駅に着いたら電車が遅れる! ちょっと焦りましたが、みんな元気に無事予定通りのコースを楽しみました。





## ■秋葉原AKB48チーム編■

前回の春キャンプでは原宿のAKB48オフィシャルショップに行きました。今回はAKB48の聖地！！秋葉原のAKB48オフィシャルショップ&カフェに行きました。

前日も今回もツアーガイドは子どもたち、スタッフはついて行くだけ・・・。  
メンバーは女性スタッフ3人と女の子3人はたから見たらきっと娘の買い物に付き合うお母さん！？

一番最初の目的地はAKB48ショップ&カフェ！！だったんですが開店時間の30分前に着いてしまった為近くのアイドルショップを散策。

そこで少し暇をつぶし今度こそ！！AKB48ショップ&カフェへ！！

開店時間の11時よりも少し前に着きましたがすでに行列が！！  
それでもすぐに中へ入ることが出来ました。さっそく料理と飲み物を注文。

何と！！飲み物を注文するとメンバーのコースターがもらえる仕組み！！  
ただ誰が出るかは運次第！！  
自分の推しメンのコースターが出ることを願って引くが残念！！出ませんでした(泣)  
6枚ゲットしたので3人で仲良く分けてました。

料理を食べた子供たちはすぐにショップへ！！  
カフェ側のショップとシアター側のショップを梯子しAKB48ショップ&カフェを後にしました。  
その後はアニメ好きな子の聖地アニメイト

に行きました。大きなふくろいっぱいを買ってました。

その後はまたアイドルショップへ！！  
みんな真剣にお小遣いと品物を見比べてます。

みんな推しメンのグッズを買いました。

その後はお土産を買いに東京駅へ。そこで家族へのお土産を買い修学旅行は終了。

## ■秋葉原男子チーム編■

大人たちに視界を遮られ、ちょっぴりぎゅうぎゅうの電車に立ったままゆられること1時間(?)

秋葉原到着～！アニメイトへ直行～！町はアニメだらけ。

やっぱりここは秋葉原なんですね～。



さて、このチームはこども9人、大人7人の大勢チーム。

一通り見た後はミスドで休憩しました。  
ちょうどキャンペーン中で人数分のスクラッチカードをゲット。必至で10円で削りまくり、バスタオル2枚をゲット！

なんとこのバスタオル、子供たちからスタッフへプレゼントのサプライズが！  
みんな、ありがとう！

さて、休憩も終わりいよいよもうひとつの目的、「ゲーム」！

さあ目的のビルに到着！と思いきや、たちまちこどもの世界へ突中！みんなどこからかカードを取り出しゲーム機の前に群がっています。

10分経過・・・20分経過・・・、何分経ってもこの状態のまま！そして隣には、たっくさんのガチャポン。もらってきたおこずかいで自分や、妹や家族のおみやげにどれにしようか迷いながらハンドルを回します。十分遊んだあとはお昼ご飯です。ビルの中の飲食店で食べることになりました。1時まで遊んで2時まで昼食、食べ終わったらすぐに東京駅に出て、家族やおばあちゃんに頼まれたおみやげを買うことになっています。

でも子供たちの一部はまだまだゲームがやりたい。

そして子供たちが考えたのは、ゲームをやりたい人はラーメン、その他の人はふつうにご飯、でした。すごいですね。目的のためならばの発想！

15分くらいだけど、ゲームをして、東京駅に出ました。

駅チカのお土産ショップでみんなお土産を買って、帰りました。

## ■葛西臨海水族館編■

グループの中で一番遠い葛西臨海水族館。

キャンプ最寄り駅から電車で約2時間！前日に移動スケジュールをしっかりと組んで当日。

行きの移動スケジュールは変更！来た電車に乗る！！とはいうものの、遅れてる電車は満員。そんな中スタッフの1人が機転を利かせて・・・乗換駅でたまたまた『特急かいじ』に乗っちゃおうか？と提案。小学3年生くらいの子を4人も満員電車で詰め込むなんて無理！かつ、水族館は遠い！乗っちゃえ！と乗車。

朝、都心を走る特急は過密ダイヤの中を



走るのもそんなにスピードは出ません。でも東京駅までは乗り換え無しで楽です。お陰で予定の15分遅れで葛西臨海公園駅に到着。

さあ、大観覧車に乗りに行くぞー。日本最大の観覧車『ダイヤと花の大観覧車』です。にしても暑い・・・キャンプしている滝本とは大違いだ。観覧車のゴンドラはクーラー効いてるんだらうなあ・・・？

ゴンドラはクーラー効いていて快適・・・  
 どんどん登っていきます。

さてお次は、いよいよ水族館！

ここの水族館の建築デザインは、海と繋がっているように見える工夫がされていて、

入り口横の水面の淵がまるで海辺のように見えます。

入り口を過ぎてエスカレーターで地下に降りると・・・巨大な水槽にマグロが凄い勢いで泳ぎ回っていたり、多種多様な地域の沢山の珍しい魚などが展示されていて、

時間が過ぎるのが早い・・・。

見終わった後、お土産を買い、外に出ると雨・・・急いで駅へ走ります。

みんながんばって急いでくれたので予定の電車に無事乗れました。

東京駅のプラットフォームに着くと他のグループも丁度集まっていました。

## ■お台場チーム編■

電車の遅れもなんのその・・・子どもたちの気分は、「JUMP SHOP」 「台場」へ。電車の中でもワクワク感たっぷりでした。

まずは、東京駅構内のキャラクターストリートにあるJUMP SHOPでお買い物。集合時間を告げたと同時に、子どもたちの姿はショップの中へ消えて行きました（笑）

さて、その後は、フジテレビ主催の「お台場合衆国」目指し台場へ。東京テレポート駅を出て、現地へ向かう途中、DAIBA CITYを通り抜け、巨大

なガンダムを発見すると、暑さと移動の疲れが吹っ飛んだのか、走り出した。

「撮って！撮って！ガンダムだけでもいいから撮って！」台場チームの唯一のガンダム前の集合写真をご覧くださいね。



お腹もすいたぞ、台場での行動の前に腹ごしらえです。座る場所も少なく（人が居る居る）、屋根も少ない、そんな場所ですから、しゃがみ込む子どもたちも居て、その子たちを建物内に避難させる班（←帰りの集合時間に合流）、屋台村で思い思いのご飯を買って、日陰のベンチで食べる班に。食べたなら、目指すはお化け屋敷！ここでも二手に分かれて、お化け屋敷班と、合衆国内散策班・・・計3班に。

さて、楽しい時間にも限りがあって、帰りの時間がやってきます。感想をゆっくり聞く間もなく、迫ってくる電車の時間に駅中を小走りで通り抜け、乗車出来て、ほっ。

その後、やっとDAIBA CITY班、お化け屋敷班、合衆国内散策班のそれぞれの出来ごとや感想を聞くことができました。その話は、また個々に聞いてあげて下さい。



温泉に入った後、夜はバーベキュー、花火、キャンプファイヤー！  
楽しい思い出がまたひとつ。



ちょっと怖々と見守る子。

さあ、出発の時刻が近づいてきた・・・  
閉村式です。

スタッフの皆さんからひと言ずつ挨拶。  
最後にみんなで歌を歌い、みんなで記念写真を撮りました。



みんな、またね。

### 【7日目】

とうとう帰る日。

起床後、早速荷物をまとめます。

荷物をまとめたらキャンプ最後の朝食です。

朝食後、出発まで暫く遊びます。

近くの川で魚を釣ってきた子。

スタッフがさばき方を教えています。



各活動報告は、ゆうこりん、うさみさん、りょうちゃん、みなみん他、一部ブログ掲載分（ぼうちゃん、みっちゃん、ゆりりん記）より抜粋。